



一人ひとりを大切にする学校に

～挨拶は成長への活力～



校長 原田 佐由利

自然豊かな平中学校には、様々な色や音をはじけています。三恩の庭にある木々の「緑色」、春を代表する桜や宮前区の花コスモスの「ピンク色」、平中学校のイメージ「青色」、メジロやウグイスの「鳥の声」、生徒の皆さんの「喜びの声や挨拶の声」、一人ひとりの気持ちの切り替えを促す「チャイムの音」。考えるときりがなく、同じものは見つけられないくらいあります。しかしながら、この新鮮で素晴らしい環境も、改めて確認しないと見逃してしまいがちです。

4月1日、令和6年度が始まりました。そして4月5日、全校生徒がそろいました。私はこの5日間で、平中学校の美しい風景と明るく元気な生徒の皆さんの姿から、心に栄養をもらい前に進んでいられることを感じました。始業式、入学式を迎えた皆さんも、きっと一人ひとりが生き生きと輝いていることでしょう。ぜひ、自分をより良く成長させるために、自分を支えてくれている仲間、家族、地域、先生、環境などに心に向け、自分の活力としていってほしいと考えます。

さて、平中学校は「一人ひとりを大切にする学校」をめざしています。「一人ひとり」とは、自分、仲間、先生方などすべての人のことです。学校という集団生活の中でお互いの良いところを認め合い、不十分なところは励まし合い、助け合い、いつも誰とでも心を動かし合える学校でありたいという願いの目標です。目標を実現する第一歩としては挨拶を交わすことをお願いしています。心ある挨拶には、「感謝・素直・思いやり・謙虚」の気持ちが込められているものです。挨拶を交わすことで、仲間同士や先生との関係、家族との関係など、お互いがより良い人間関係を築くことができ、勇気をもってどんなことにも挑戦できるような大きな力が育まれるはずで、前向きな意識をもって挨拶の言葉を使うことを、学校全体で取り組んでいきましょう。

コロナ禍という言葉も聞かなくなり、今年度は多くの教育活動ができるようになります。同時に、コロナ流行前の教育活動を発展的な考えのもと、見直しを求められている学校現場です。保護者の皆様、地域の皆様とともに生徒の成長を喜べる、そして風とおしの良い学校をめざして、教職員一同努力してまいります。本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

職員紹介



山田 敦
教頭

3年生

学年主任 1名、担任 4名、副担任 2名

学年所属 1名、特別支援級担任 1名

2年生

学年主任 1名、担任 3名、副担任 3名

学年所属 1名、特別支援級担任 1名

1年生

学年主任 1名、担任 3名、副担任 3名

学年所属 1名、特別支援級主任・担任 1名

学年外

養護教諭 1名、事務職員 1名、業務職員 2名

SC 1名、日本語指導員 1名、ALT 1名

事務支援員 1名、部活動指導員 2名

